



## 【戦評シート】

平成23年8月9日(火)	協会名： 秋田県 バasketボール協会					
場 所： 琴丘総合体育館 (Aコート)	記入者： 山崎淳一 鎌田拓也					
チームA 一 関 (岩手1位)	63 { <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>11-13</td></tr> <tr><td>16-18</td></tr> <tr><td>21-16</td></tr> <tr><td>15-14</td></tr> </table> }	11-13	16-18	21-16	15-14	チームB 信 陵 (福島1位)
11-13						
16-18						
21-16						
15-14						

スターター	チームA： #4, #7, #8, #10, #15
	チームB： #4, #5, #6, #7, #8
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

第1ピリオド、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。お互いボールマンに激しくプレッシャーを掛け合う中、一関は#8 木村のドライブインシュート、#4 岩渕のジャンプシュート、#7 古澤のステップインシュートなどで得点する。一方、信陵は#7 鈴木が速攻、ジャンプシュート、3Pシュートなど10得点を挙げ、終了間際に#8 佐伯が3Pシュートを決めて逆転し、一関11-13 信陵で第1ピリオドを終了。

第2ピリオド、信陵は#4 齋藤ジャンプシュート、#5 大塚のゴール下のシュートなどでリードを広げようとする。ついていきたい一関は#10 千葉のジャンプシュート、#15 沼倉のインサイドでのパワープレイで加点する。一進一退の攻防が続くが、終盤連続7得点を挙げた信陵が27-31の4点リードで前半を終える。

第3ピリオドに入ると、一関は連続8得点を挙げて一気に逆転して35-33とする。その後、信陵#4 齋藤がドライブやジャンプシュートを小気味よく決めると、一関は#15 沼倉がインサイドのパワープレイで応酬するなど両チーム譲らぬ展開となり一関48-47 信陵で第3ピリオドを終了。

第4ピリオド、一関は#4 岩渕、#15 沼倉が攻撃の軸となり得点を重ねる。追いつきたい信陵は#7 鈴木や#8 佐伯らが得点してシーソーゲームを展開する。残り2分、3点を追う信陵は2回目のタイムアウトを請求。その後、積極的にボールを取りにいくがファウルを取られ、チームファウルが4つになる。粘り強いディフェンスで何とかしのいだ信陵は、3Pシュートで同点を狙うが惜しくも外れて一関ボールになる。一関はファウルからフリースローを1本沈めて4点差とする。信陵は#8 佐伯の3Pシュートで一点差まで詰め寄るが、またもファウルから相手にフリースローを与えてしまう。結局63-61の2点差で一関が粘る信陵を振り切り、準決勝進出を決めた。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。